えどがわ桜守
活動手引き

小松川千本桜

(公財)えどがわ環境財団

はじめに

区では、緑豊かな住みよい環境をつくるために昭和 45 年より「ゆたかな心　地にみどり」を合言葉に、区民の皆さんと緑化運動を進めてきました。

特に桜の数は１万５千本にもなり、多くの桜の名所があります。毎年綺麗な花が春の訪れを知らせる桜は、夏から冬の間の管理がとても大切です。また、普段の生活の中でもちょっとしたことに気を付けることで、桜を元気に育てることができます。

桜は樹木の中でも多くの人に親しまれている木です。この桜を守る活動を通して、自然や環境に関心を持つ眼を持っていただければ幸いです。

目標：元気な桜を育てるまちづくり

■パートナーシップですすめるまちづくり

目標の実現に向け、区民と区がお互いに協働して取り組むパートナーシップによるまちづくりをすすめます。区では、区民の思いや発想を具体化する行動をサポートしていきます。

一人ひとりの思い	行動して思いを実現	活動を広める	まちに広げる
興味を持つ	やってみる	継続する	皆に広げる
もっと知る		仲間を見つける	仲間づくり

■桜守の窓口となる(公財)えどがわ環境財団

(公財)えどがわ環境財団では、桜のまちづくりをすすめるにあたり、身近な桜を育てる喜びをともに感じながら、区民がより気軽に行動できるよう、地域に密着した活動をサポートします。

皆で一緒に、桜のまちづくりを広げていきましょう。

見守り

施肥

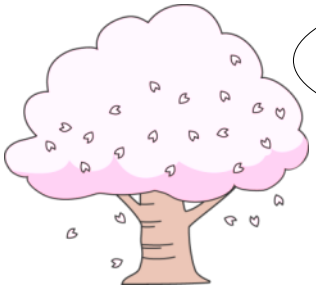
清掃

さあ！桜を元気に育てる活動を始めよう！

普段からの観察、ちょっとしたことに気をつけたり、管理をしたりすることで、
桜を元気に育てることができます。
「守る・育てる・広める」希望の活動を始めましょう！

桜守の心がけ

私は「元気な桜のまちづくり」を推進します
1．日頃から、桜をよく観察します
2．桜の知識を深め、活動に活かします
3．桜の好きな仲間づくりに努め、アダプト活動に参加します



図書館や植物園などで研究しよう！ A B C

講座に参加をして桜の知識を学んでいます！ A B C

区や地域が主催するイベントや地域活動に参加したいな！ A

この桜を１年間観察してみよう！ A

桜の根を傷めないよう、お花見は桜の木の外で楽しもう！ A

A守る活動

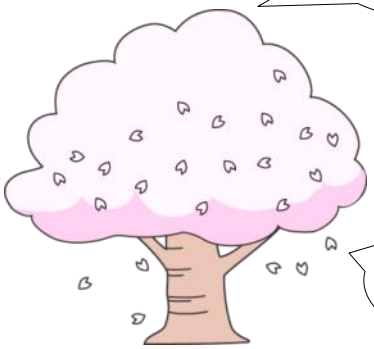
情報を事務局（えどがわ環境財団）へ発信します
■開花情報…ホームページに掲載します
■桜の継続的な観察
■毛虫・病気等の桜の異常の発見

B育てる活動

活動を決めた場所で実践活動をします
■桜の根元管理
・草花の種を植えたり、花苗を植える
・肥料を与える(2 月頃)
・雑草を取る

A
〇〇の桜が満開だ。
仲間に知らせよう！

散歩途中で、病気にかかっている桜を見つけたわ。
連絡しましょう。 A



施肥や根元を守る活動がしたいな。 B

桜の周りを綺麗にする、清掃活動をしたいな B

C
学んだ知識を仲間へ知らせたいな！

C 個人ホームページや交流会等で活動の情報交換をしよう！

桜マップを作りたいな！ C

C
桜もちを作ってみんなで食べたいな！

樹名板を作りたいな。 C

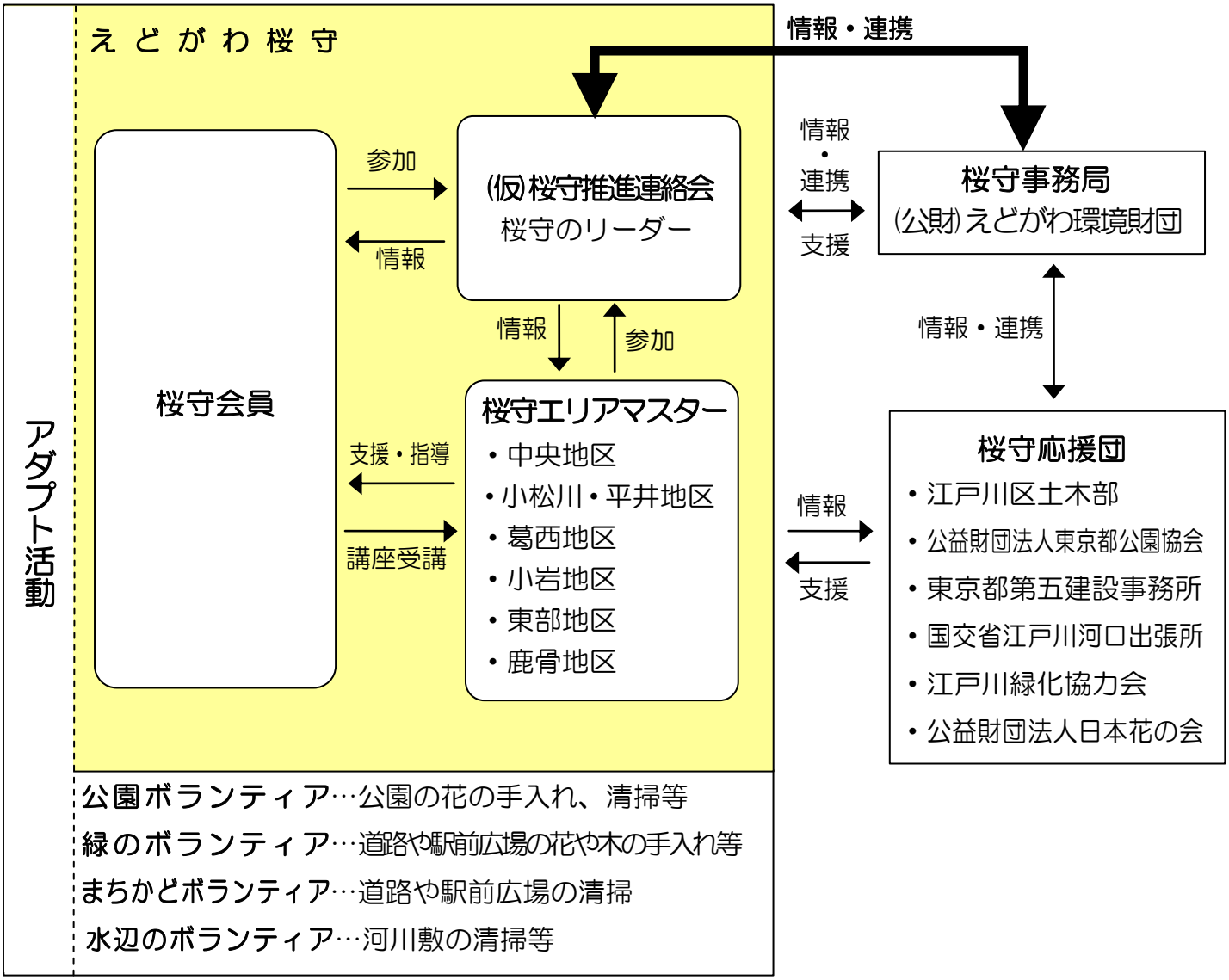
■ヤゴ(ひこばえ)、胴ぶき枝の剪定

C広める活動

桜や活動のＰＲ・仲間づくり・知識を広めます

■樹名板づくり
■交流会の開催(毎年３月)
■桜仲間の輪を広げる
■学んだ知識を広める
■知識を仲間に伝える勉強会の開催

桜守の位置付けと活動システム



講座・講習会で、桜の知識を学びましょう

■皆で学ぼう　サクラ講習会

[講師]　公園受託者

[会場]　小松川千本桜（５・８・１月）
　　新左近川親水公園（５・10・１月）
　　小岩公園（５・10・１月）
　　篠田堀親水緑道（５・10・１月）

[内容]

区内４か所の公園で、季節ごとのサクラの観察ポイントを学びます。
「モデル公園」として、講習会を通して活動し、地区の桜守活動の見本とします。
講習会の内容により、作業を行ったりもします。

５月	コスカシバ対策をしよう
８月	モンクロシャチホコの駆除方法を学ぼう
１０月	根本の土をフカフカにしよう
翌年１月	施肥をしよう

■さくらものしり博士になろう！

[日時]（ソメイヨシノ編）
　　４月第１土曜日　９時30分～12時

（サトザクラ編）
　　４月第２土曜日　９時３０分～１２時

[講師] 東京農業大学グリーンアカデミー講師
　　石井英美氏

[会場]（ソメイヨシノ編）小松川千本桜
　　（サトザクラ編）　新左近川親水公園

[内容]　桜の開花時期に桜の花を、ルーペを使ってじっくり観察をします。
　　品種による、桜の見分け方を学ぶことができます。

■始めよう　えどがわ桜守養成講座

桜の基本的な事はもとより、専門的な知識を、講義及び見学などにより身につけます。

［講師］　公益財団法人　日本花の会　西山正大氏

［会場］　グリーンパレス、東小松川公園、中央森林公園　ほか

［内容］

９月	未定
翌年３月	桜の季節を前に、開花前と開花後の観察ポイントを知り桜をもっと楽しむ方法を学ぶ。

講師　西山正大先生

講習会の様子

講習会の様子

※写真は２５年度
「桜守スキルアップ講座」のもので、
平成２６年から講座名が変わっています。

学んだ知識を実践にうつしましょう・桜守活動例

A　守る活動

［桜の定期的な観察］

［公園の桜の開花情報をホームページで発信］

B　育てる活動

［桜の根元の花壇づくり］

［肥料を与える］

C　広める活動

［樹名板の作成・設置］

［交流会での発表・参加］

［花と緑のフェアで桜守 PR のテント出店］

桜守の活動を支援するサポート制度 ※それぞれの連絡先については、１９ページに記載しています

■江戸川区の公園・道路については、「アダプト制度」があります

桜の仲間づくりを推進するために、桜守のバンダナを身に付けて活動をします。また、アダプト制度に基づき、公共地での活動を進めるにあたっては、次のような支援をします。

（例）

- 桜の根元管理のための、花苗や花の種の提供
- 桜の木を健全に育てるための、肥料等の提供
- 活動に必要な資材・資料の貸し出し、提供

■公益財団法人 東京都公園協会については、「公園友の会」の制度があります

公園友の会の制度は、公園とボランティアが良好なパートナーシップを結び（＝登録）、都立公園をより魅力的なものにしています。活動を行う際には腕章を貸与します。また、都立公園によっては活動に関わる機材の貸出し等が受けられたり、活動に必要な資材の提供等も受けることができます。

都立公園ごとに状況が違うため、詳しくは活動を行う際に各都立公園サービスセンターにお尋ねください。

■公益財団法人 日本花の会については、「後援会員（個人会員、法人会員）」の制度があります

全国各地の会員の皆さんや、桜を愛する多くの方々と力を合わせて「桜の名所づくり」を進めています。 創立以来の基幹事業であるこの活動で、国内外にお届けした桜の苗木は２２０万本を超えました。 各地から届くお花見の便りは、地域の人々に親しまれ、美しい環境づくりやコミュニティづくり、 地域振興などに役立っている様子を知らせてくれています。

また、日本花の会では、これまでに配布してきた桜の植栽地のアフターフォローのほか、既存の〝桜の名所〟の再生にも取り組んでいます。

会員の特典

- 日本花の会の活動を支え、花のまちづくり運動の力となる
- 桜の苗木の無償提供(詳細は事務局へ問い合わせ)
- 会報「花の友」を配布
- 日本花の会の催しものに優先的に参加が出来る
- 日本花の会の発行する書籍を割引で購入出来る　など

個人会員が 10 名以上または、地域住民 10 名以上の法人会員は、地方会員組織を結成できます。情報の提供や費用の助成などで活動を応援すると同時に、全国の交流会を開催しています。

桜に関する書籍の紹介

①桜さくらサクラ１００の素顔
　財団法人東京農業大学出版会発行

②日本のサクラの種・品種マニュアル
　日本花の会　花と緑の研究所編纂・発行

③桜が創った「日本」・ソメイヨシノ起源への旅
　佐藤俊樹　著　　岩波新書

④桜の雑学辞典
　井筒清次　著　　日本実業出版

⑤サクラハンドブック
　大原隆明　著　　文一総合出版

⑥日本の桜（フィールドベスト図鑑）
　勝木俊雄　著　　Gakken

⑦新・日本の桜
　木原浩、大場秀章、川崎哲也、田中秀明　著
　山と渓谷社

東京都内の桜守ホームページ紹介

隅田公園さくらパートナーシップ
http://park.geocities.jp/sumidapark_sakura/

上野桜守の会
http://ueno.sakuramori.jp/

くにたち桜守
http://www005.upp.so-net.ne.jp/k-sakuramori/

桜の豆知識

Q：花見はいつ頃からあるの？
A：平安時代からです。
花見の記述として最も古いものは、日本後紀に記されています。嵯峨天皇が南殿内に植えたサクラを愛でて宴を繰り広げたもので、その後平安時代に、貴族の間に広まったとされています。

Q：桜の香や色には癒し効果があるの？
A：桜の花は心を和ませる淡い芳香で、気分を高揚させるそうです。そして、桜の薄いピンクは、カラーセラピーでは精神を穏やかにすると言われています。

Q：漢方薬としての桜は使われますか？
A：桜の外樹皮は、プロチンと呼ばれる成分が含まれており、咳を鎮め、痰を除くそうです。また、樹皮を煎じて飲めば悪性の腫れ物を抑える効果もあるそうです。

Q：ソメイヨシノとヤマザクラを見分けるコツはありますか？
A：ソメイヨシノは葉が出る前に花が咲き、ヤマザクラは花と赤紫色を帯びた褐色の葉が同時に開きます。

ソメイヨシノ

ヤマザクラ

Q：サトザクラという品種のサクラはあるの？
A：‘里の桜’の意味で付けられた園芸品種の総称です。オオシマザクラがもとになって、それにヤマザクラなどの他のサクラが自然交配したり、人為的に交配が行われたりしてできた品種群です。‘サトザクラ’という品種名のサクラはありません。サトザクラの中でも八重咲のものを一般的に‘八重桜’と呼んでいます。

Q：桜の枝は切ってはいけないのですか？
A：俗に「桜切る・・。梅切らぬ・・」とよく言われていますが、間違いではありません。桜は「太い枝を切った後に薬を塗布しないと切り口から病気になりやすい。」一方梅の処理は「切り口が癒えやすい。」のです。

主な桜の品種紹介

河津桜(カワヅザクラ)

Prunus lannesiana 'Kawazu-zakura'

花は中輪、一重咲きで紅紫色。開花期は１月下旬～２月上旬。伊豆半島の河津町にある早咲きの桜で、寒緋桜と大島桜の雑種と推定されます。

（小松川千本桜・旧中川河川敷）

大寒桜(オオカンザクラ)

Prunus×*kanzakura* 'Oh-kanzakura'

花は中輪、一重咲きで淡紅色。開花期は１月下旬。埼玉県の安行にあった桜で安行寒桜とも呼ばれます。

（旧中川河川敷）

寒緋桜(カンヒザクラ)

Prunus campanulata

花は小輪、一重咲きで濃紅紫色。開花期は２月下旬。中国から台湾に自生している桜で台湾緋桜、緋寒桜とも呼ばれています。花は釣鐘状の形となり花色と併せ独特の雰囲気をもつ桜です。

（平井さくら公園・小松川千本桜・興農親水緑道）

大島桜(オオシマザクラ)

Prunus lannesiana var. *speciosa*

花は大輪、一重咲きで白色。開花期は３月下旬。伊豆七島や房総半島などに自生する潮風に強い桜です。桜餅の桜の葉には、この桜が使われています。

（小松川千本桜・新左近川マリーナ・新左近川親水公園など）

染井吉野(ソメイヨシノ)

Prunus× *yedoensis* 'Yedoensis'

花は中輪、一重咲きで淡紅色。開花期は３月下旬。日本各地に植えられている代表的な桜で、区内でも多くの公園で楽しめます。江戸時代末期に江戸染井村（現在の東京都豊島区）から「吉野桜」として売り出されました。

（小松川千本桜・中央森林公園・篠田堀親水緑道など）

関山(カンザン)

Prunus lannesiana 'Sekiyama'

花は大輪、八重咲きで濃紅色。開花期は４月中旬。八重桜の代表的品種で欧米でも広く植えられています。また、花の塩漬けは桜湯として用いられます。

（古川親水公園・新左近川親水公園
フラワーガーデン(総合レクリエーション公園)など）

普賢象(フゲンゾウ)

Prunus lannesiana 'Alborosea'

花は大輪、八重咲きで淡紅色。開花期は４月中旬。室町時代からあったといわれる古い品種で、葉化した雌しべが普賢菩薩の乗る象の鼻に似ていることからこの名がつけられたといわれています。

（行船公園・古川親水公園など）

鬱金(ウコン)

Prunus lannesiana 'Grandiflora'

花は大輪、八重咲きで黄緑色。開花期は４月中旬。花色が黄緑色と珍しい桜で、ウコンの根茎を使って染めた色に似ていることからこの名がつけられたといわれています。その花色から欧米でもよく栽培されています。

（一之江境川親水公園・新左近川親水公園など）

御衣黄(ギョイコウ)

Prunus lannesiana 'Gioiko'

花は中輪、八重咲きで緑黄色。開花期は４月中旬。古くから知られる珍しい花色の桜です。

（小松川千本桜・雷公園・なぎさ公園(総合レクリエーション公園)）

十月桜(ジュウガツザクラ)

Prunus × *subhirtella* 'Autumnalis'

花は中輪、八重咲きで淡紅色。開花期は４月上旬、10～12 月。10 月頃から咲き始め、翌春にも咲く、年２回花を咲かせる珍しい桜です。

（一之江境川親水公園）

代表的な病虫害

１）害虫

◆穿孔性害虫

外見上被害を受けている印象を持ちにくいものの、放置しておくとサクラが枯死しかねない害虫です。サクラの保全には早期の対策が欠かせません。

①コスカシバ　【発生時期】５月下旬～１０月頃

幼虫が出した虫糞とヤニ

幼虫が出した虫糞とヤニ

コスカシバの幼虫

コスカシバの成虫

◆ 食葉性害虫

ケムシ類による葉の食害で桜が枯死することはありませんが、桜の成育には悪い影響を与えます。主なケムシ類では、発生時に一箇所に集中して棲息していることが多いので、早期に発見することが防除には有効です。

②オビカレハ　【発生時期】４月～５月

４月上旬の桜の咲き終わる頃にくもの巣状の巣をつくる。

５月頃の様子

③アメリカシロヒトリ　【発生時期】６月上旬、７月上旬、９月上旬(少ない)

④モンクロシャチホコ　【発生時期】８月下旬～９月

２）病害

伝染性が強く放置しておくと、桜の衰退につながる病気です。花の時以外にも桜の樹を観察して早期発見、早期防除に努めることが大切です。そのようにすれば被害を最小限に抑えることが可能な上、農薬による防除でも環境等への負担を少なく出来ます。

①サクラてんぐ巣病　【発生時期】通年で確認可能

サクラてんぐ巣病は伝染性があるので、病気にかかった枝を放置したままでは、桜の木全体がこの病気に侵され、花が咲かなくなりやがて枯れてしまいます。

外見上被害を受けている印象を持ちにくいものの、放置しておくとサクラが枯死しかねない病気です。サクラの保全には早期の対策が欠かせません。

削除は冬季に行い、切り口に「トップジンMペースト」など殺菌力のある塗布剤を塗ります。また切り落とした枝は必ず焼却します。テングス病菌が飛散し、また感染してしまいます。

②こうやく病　【発生時期】通年で確認可能

枝や葉に菌が密生してフェルト状のこうやくを塗ったように見える病気です。色も白っぽい灰色から暗灰色、褐色、黒色まであり、色によって灰色こうやく病や褐色こうやく病と呼ばれています。美観が損なわれ、枝などは枯れることがあります。

カイガラムシと共生関係にあり、当初はカイガラムシの排泄物から養分を吸収して繁殖します。冬季に薬剤散布をして退治しますが、カイガラムシも退治しないと再発します。

③ならたけ病及びならたけもどき病

【発生時期】梅雨と秋雨の時期（年２回）

ナラタケ

ナラタケモドキ

連絡先

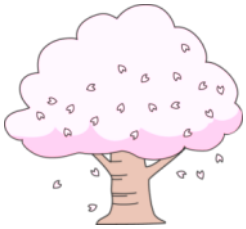
桜守に関する情報・ご相談はこちらへ

桜守窓口：(公財)えどがわ環境財団　事業係
ホームページ：http://www.edogawa-kankyozaidan.jp/sakura/
電話　：03-5662-5542
FAX：03-3652-1557

管理担当部署

■区立公園 区道(街路樹)	(新大橋通り以北・新中川以西地域) 水とみどりの課みどりサービス第一係	03-5662-5543
	(新大橋通り以南地域) 水とみどりの課みどりサービス第二係	03-5662-1934
	(新中川以東地域) 水とみどりの課みどりサービス第三係	03-5662-0321
■都立公園 公益財団法人 東京都公園協会	(大島小松川公園・宇喜田公園) 大島小松川サービスセンター	03-3636-9365
	(篠崎公園) 篠崎公園サービスセンター	03-3670-4080
	(葛西臨海公園) 葛西臨海公園サービスセンター	03-5696-1331
■都道 ※環状七号線等	東京都第五建設事務所街路樹係	03-3692-4504

◎公益財団法人　日本花の会
http://www.hananokai.or.jp/
電話：03-3584-6531　ＦＡＸ：03-3584-7695



桜名所マップで桜をもっと楽しもう！

（本数は平成２６年３月現在）

お花見マップ（主な桜の名所）

◎開花情報は、区ホームページでご覧いただけます。

えどがわ桜守　活動手引き

〔問い合わせ〕**(公財)えどがわ環境財団　事業係**

〒132-0021　東京都江戸川区松島１-44-12ＫＴパークビル

電　話：03-5662-5542

ＦＡＸ：03-3652-1557

〔発　行〕(公財)えどがわ環境財団

〔協　力〕公益財団法人　日本花の会

〔発行日〕平成２２年４月　〔第７回改訂〕平成２９年１月